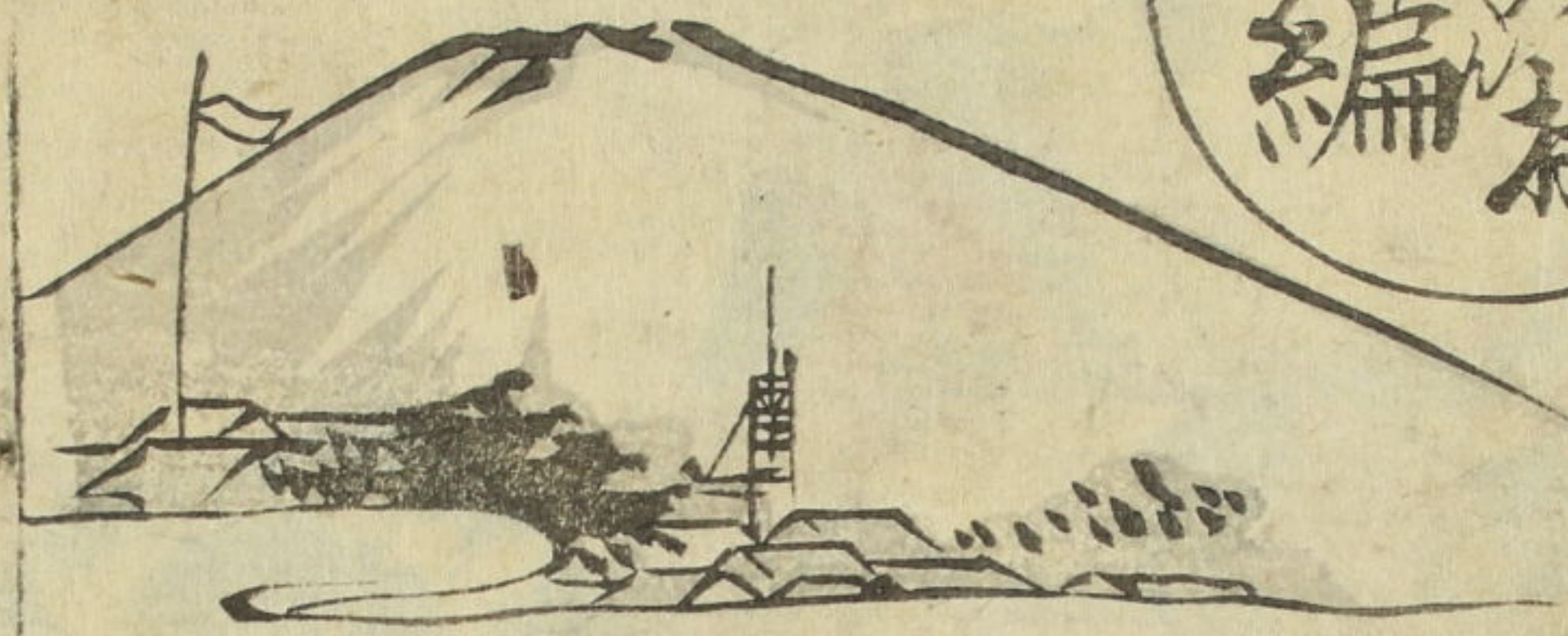


7
8
9
90
1
2
3
4
5
6
7
8
9
100
1
2
3
4
5
6
7

名所杖
二編



外題改

繪圖

見

西行上冊

京山作
貞面
天保子春
喜鶴堂刺



へ 13
3744
2





山崎作

繪圖身見

天保十一年
庚子

さ
み
と

二編下



三 ちの目と ちの目と ちの目と
あけき せいで せいで せいで
あつるを ひらりと さひのま
あつるを ひらりと さひのま
あつるを ひらりと さひのま

けらう
あつる
か

あつる
あつる
あつる



あつる
あつる
あつる

あつる
あつる
あつる

石舟

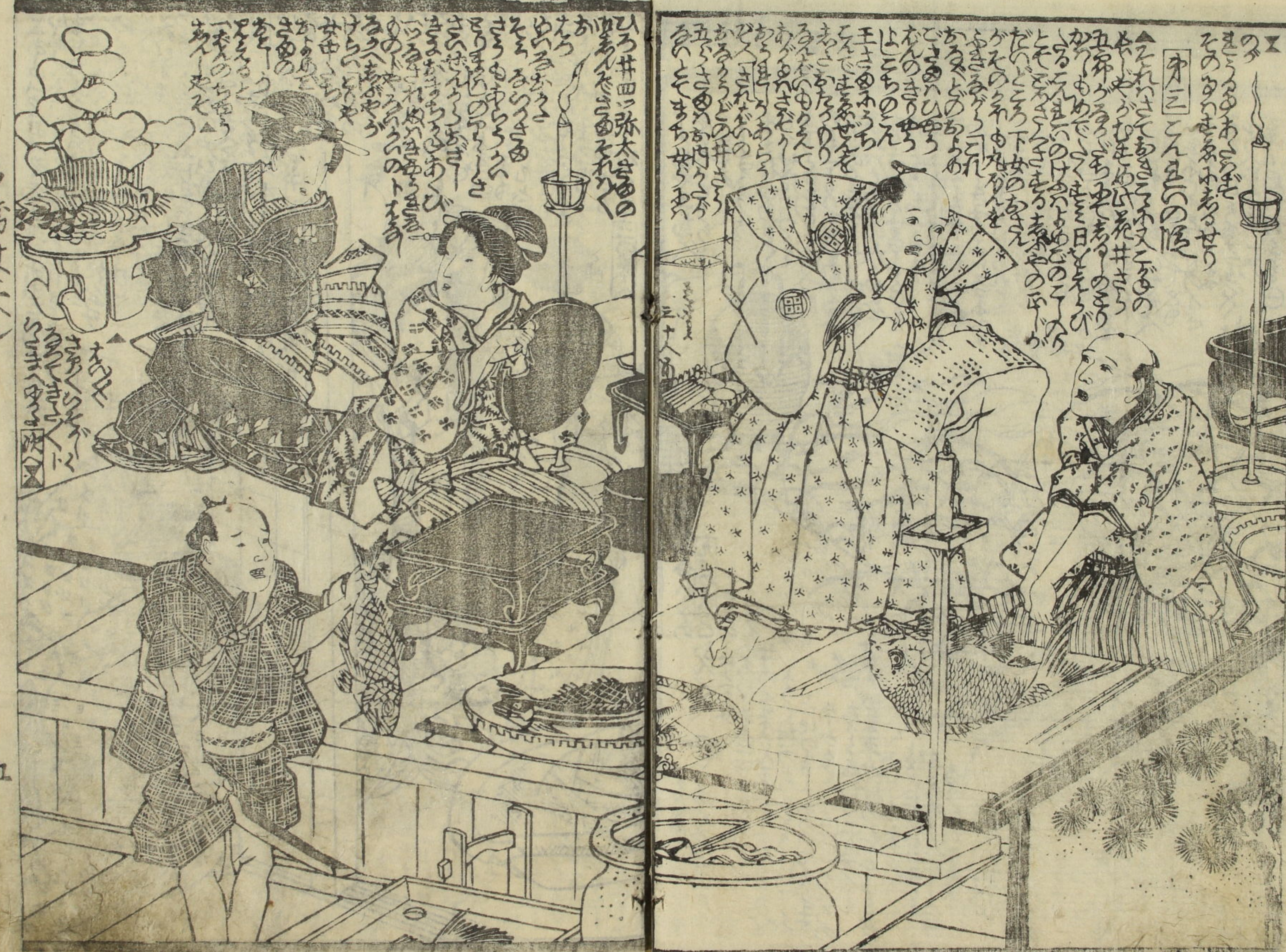
石舟

竹下 三太郎

ついでに
そのあつちのあつち
そのあつちのあつち
そのあつちのあつち

中二 こんだの候
これにてあらはれ候
五斗のあつち
かきめりて
とそらあつち
だのどろろ下女のあつち
かそらのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち

いふ井田のあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち





五の巻の人々をみるに
 上はのりうらまゝのうらまゝ
 下はのりうらまゝのうらまゝ
 上はのりうらまゝのうらまゝ
 下はのりうらまゝのうらまゝ
 上はのりうらまゝのうらまゝ
 下はのりうらまゝのうらまゝ

小たねと名をけし
 ひなげしはけし
 ひなげしはけし
 ひなげしはけし
 ひなげしはけし
 ひなげしはけし



六の巻の人々をみるに
 上はのりうらまゝのうらまゝ
 下はのりうらまゝのうらまゝ
 上はのりうらまゝのうらまゝ
 下はのりうらまゝのうらまゝ
 上はのりうらまゝのうらまゝ
 下はのりうらまゝのうらまゝ

七の巻の人々をみるに
 上はのりうらまゝのうらまゝ
 下はのりうらまゝのうらまゝ
 上はのりうらまゝのうらまゝ
 下はのりうらまゝのうらまゝ
 上はのりうらまゝのうらまゝ
 下はのりうらまゝのうらまゝ

いふに
たつた
まうい
えん
やう
けり



かた
むす
けり

あつた
いふに
たつた
まうい
えん
やう
けり

相の
いふに
たつた
まうい
えん
やう
けり

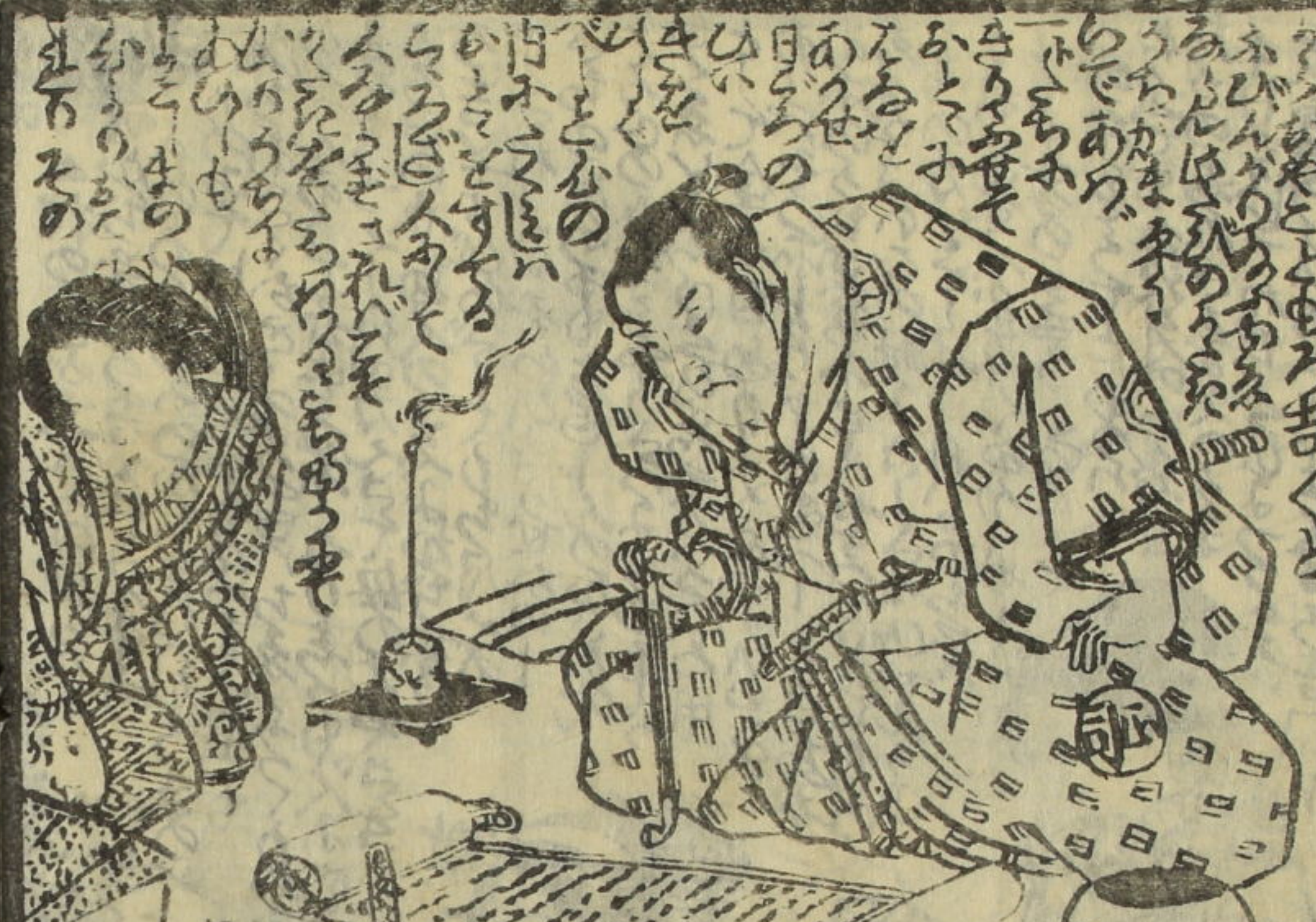


いふに
たつた
まうい
えん
やう
けり

あつた
いふに
たつた
まうい
えん
やう
けり

右の巻目

▲おのれをかかひつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を



○あつてはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を



○あつてはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を

第七 ねえの辰

▲そのよふはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を



そのよふはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を

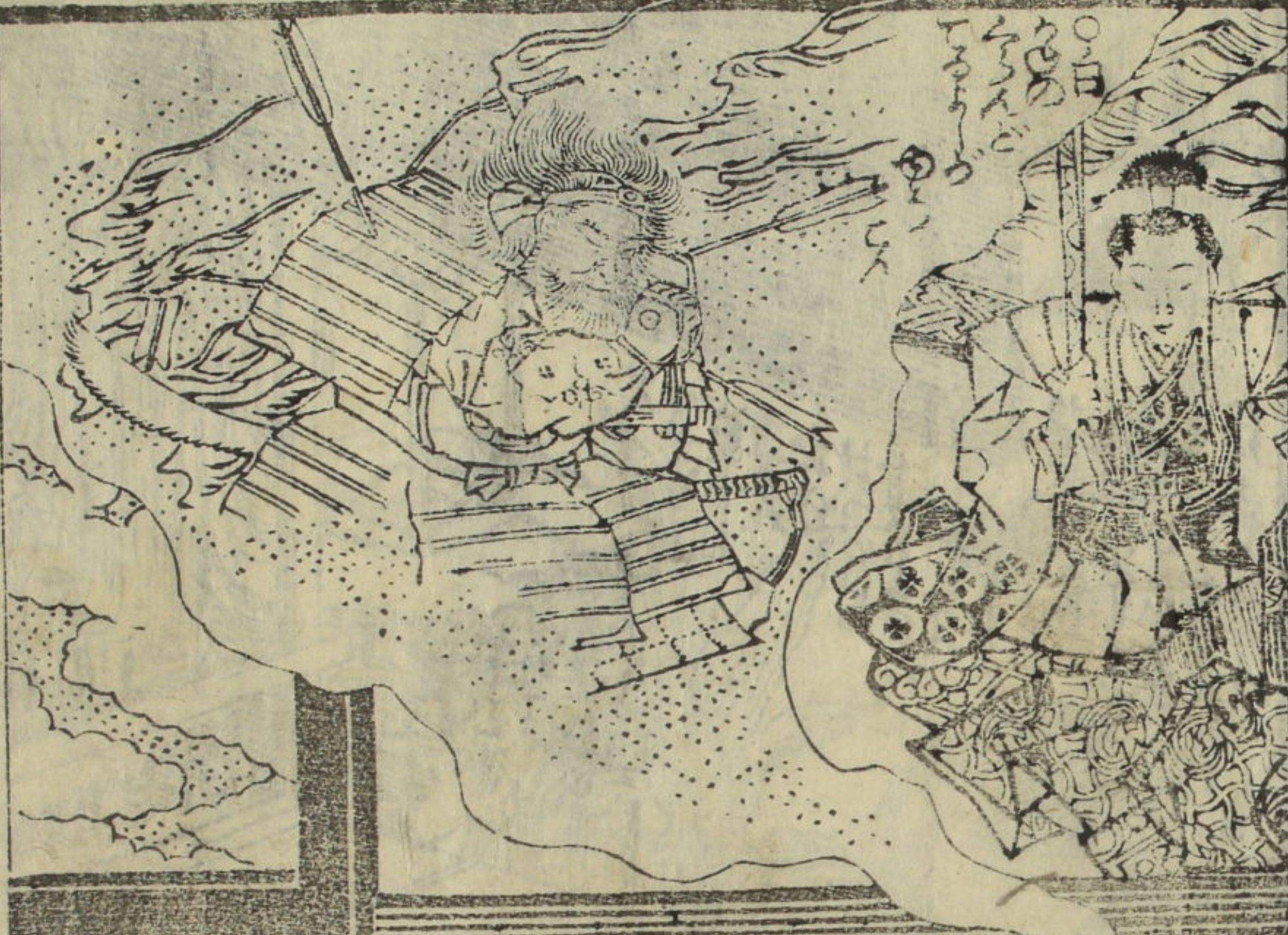
そのよふはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を

左の巻目

▲おのれをかかひつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を

そのよふはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を
くはれりたへはつゝいともなかりお刃を

第九 八幡作の屋敷の夜



目録
八幡作の屋敷の夜
八幡作の屋敷の夜
八幡作の屋敷の夜



目録
八幡作の屋敷の夜
八幡作の屋敷の夜
八幡作の屋敷の夜



目録
八幡作の屋敷の夜
八幡作の屋敷の夜
八幡作の屋敷の夜

井ののむら
 雷雲のい
 の辰

△はきののむら...
 ことしはきののむら...
 うきうき...
 王のひこ...
 まご...
 王のひこ...
 △のむら



○ 徳川御紀 山名
徳川御紀 山名
徳川御紀 山名
徳川御紀 山名

○ 徳川御紀
徳川御紀
徳川御紀
徳川御紀

○ 徳川御紀
徳川御紀
徳川御紀
徳川御紀



徳川御紀
徳川御紀
徳川御紀
徳川御紀

徳川御紀
徳川御紀
徳川御紀
徳川御紀

徳川御紀
徳川御紀
徳川御紀
徳川御紀



徳川御紀
徳川御紀
徳川御紀
徳川御紀



用がわるとしてこれよりそり
あつた村のこゝろをさしぬ
時上りのあつた村のこゝろを
さしぬ

あつた村のこゝろをさしぬ
時上りのあつた村のこゝろを
さしぬ

あつた村のこゝろをさしぬ
時上りのあつた村のこゝろを
さしぬ

あつた村のこゝろをさしぬ
時上りのあつた村のこゝろを
さしぬ

あつた村のこゝろをさしぬ
時上りのあつた村のこゝろを
さしぬ

あつた村のこゝろをさしぬ
時上りのあつた村のこゝろを
さしぬ

和漢印 章平考
古今婦人之風
俗を記多る書

北
裁雪譜
初編之巻
牧之作京山
刪定京水重
上様



あつた村のこゝろをさしぬ
時上りのあつた村のこゝろを
さしぬ

あつた村のこゝろをさしぬ
時上りのあつた村のこゝろを
さしぬ

あつた村のこゝろをさしぬ
時上りのあつた村のこゝろを
さしぬ

あつた村のこゝろをさしぬ
時上りのあつた村のこゝろを
さしぬ

あつた村のこゝろをさしぬ
時上りのあつた村のこゝろを
さしぬ

あつた村のこゝろをさしぬ
時上りのあつた村のこゝろを
さしぬ

あつた村のこゝろをさしぬ
時上りのあつた村のこゝろを
さしぬ

傾城三國志 初編ヨ 四編テ 業

傾城三國志 五篇 全四冊 墨川亭雪麿作

初編繪圖名所杖改

西國月夜神樂篇 全六冊 五柳亭徳外作

山東庵京山作

東國月夜櫻篇 全六冊 五柳亭徳外作

空俗俠素群談 全十冊 歌川貞貞画

今昔倭談 全四冊 墨川亭雪麿作

梅松論竹取物語 全四冊 墨川亭雪麿作

地本團扇 繪草紙 問屋

喜鶴堂店野屋喜

美絶山香

山東庵京山作 香蝶樓國貞画

香蝶樓國貞画 墨川亭雪麿作



